

埼玉県作業療法士会 広報誌



彩り

冬号
2023年度



- 私の声「【連載】『認知症の主人について』猪鼻伸代さん」
- ねえ、きいて！「あなたのお仕事机見せてください！ vol.3」
- 教えて県士会！！「西部ブロック」
- Quality of Campus Life ～作業療法学生に聞いてみた～ 等

No.14



—作業療法に関わる全ての人たちの魅力を伝える情報誌—

私の声

—作業療法体験談—

今回の話し手は、猪鼻 伸代さん

『おしどり夫婦』という言葉がぴったりな猪鼻ご夫妻。伸代さんの夫・猪鼻秀俊さんは、若年性アルツハイマー型認知症です。今回、伸代さんには計4回の連載を通して認知症と診断された当時の心境や日々の暮らしについてお話いただきます。家族として、認知症介護者として——伸代さんの素直な言葉の数々は、きっと私たちの明日を生きる《パワー》になることでしょう。



第1回 「主人について」

◆ 主人の紹介

主人は今68歳。59歳の時にアルツハイマー型若年性認知症と診断されました。

病気が分かったきっかけは勤めていた時、上司の方が主人の変化に気づき受診を勧めてくださいました。主人は帰宅してそれを私に話し、「病院へ行ってみようと思う。」と言ってくれましたので、早い段階で病気が分かりました。

勤めている間、『主人は社会と繋がっている』という安心感がありましたが、退職の通告を受けるとそれが無くなる事への不安が私の中で生まれました。日に日に大きくなる不安や焦りで、心と頭がいっぱいになった時、ふと思い出した《オレンジカフェ》※を訪ね、抱えている思いをスタッフの方に全て聴いて頂きました。話しながら号泣してしまいましたが溢れた涙の分、心は軽くなり、そこで前を向けたのを覚えています。

その時に若年性認知症の方々の社会貢献活動をしているデイサービスセンターを教えていただき、通うようになり、今は週に五回通っています。

※《オレンジカフェ》とは、認知症の方とその家族が安心して過ごす事ができ、情報交換や相談が出来る場のことです。

◆ オカリナ

主人の趣味は「オカリナ」を吹く事です。若い頃からやっていたのではなく、認知症の診断後、新聞の広告が目にとまり〈衝動買いをした〉のが始まりでした。買ったのは良いけれど、習いに行くわけではなく、楽譜も読めない…今思うとなんとも不思議な出会いです。YouTubeを観ながら独学の練習が始まりました。

《オレンジカフェ》へ通うようになった主人がそこでオカリナを吹いてみた所、皆さん一緒に歌ってくださり拍手喝采でした。



▲秀俊さんの相棒のオカリナ（4代目）

『皆さんの笑顔、役に立てている嬉しさ』が主人のエネルギーになって練習にも熱が入り、レパートリーがたくさん増えました。きちんと数えた事はありませんが、オカリナで出せる音域、かつ主人が知っている曲でしたらおおかた吹く事が出来ます。

知らなかったけれど、繰り返し聴いて吹けるようになった歌もあります。例えば《パプリカ》《糸》《アンパンマーチ》などがそうです。《パプリカ》は家で聴いた事はなかったのですが、通っているデイサービスで何度も聴いているうちにメロディを覚え、吹けるようになりました。

認知症は〈忘れていく病気〉〈新しい事は覚えられない〉とも聞きますが『一緒に楽しむ仲間がいれば例外もあるのだ』と主人が示してくれました。

近頃、吹き方に戸惑い〈オカリナ〉が〈口笛〉になっている時もありますが、どちらも一生懸命♪皆さんの歌声と手拍子に励まされ、頑張っています。

主人の相棒となったオカリナは、数々の素敵な出会いをもたらしてくれました。その一つが《これでいいのだバンド》です♪

ここからはバンドマスターの〈アンドリュー〉こと宇田会長にバトンをお渡ししたいと思います。

ここから話し手を、アンドリューこと
埼玉県作業療法士会 宇田英幸会長にバトンタッチ！



〈狭山市役所撮影〉

◆ これでいいのだバンド by アンドリュー (宇田会長)

これでいいのだバンドは、〈イノッティ〉こと猪鼻秀俊さんと、埼玉県作業療法士会の OT 有志によるバンドが会って結成され、2018年9月23日、埼玉県庁前で開催された RUN 伴埼玉のゴールイベントでデビューしました。同じ年の12月、文京学院大学ふじみ野キャンパスにて作業療法学科の講義にイノッティ夫妻が講師として招かれた際にも同行し、学生、教員の前で演奏を披露しました。その講義の中で、イノッティの奥様である〈メアリー〉こと猪鼻伸代さんが、タモリさんが赤塚不二夫さんへ送った弔辞を聞いて勇気をもらったというお話をされました。

「あなたの考えはすべての出来事、存在をあるがままに前向きに肯定し、受け入れることです。

それによって人間は、重苦しい意味の世界から解放され、軽やかになり、また、時間は前後関係を断ち放たれて、その時、その場が異様に明るく感じられます。その考えをあなたは見事に一言で言い表しています。すなわち、『これでいいのだ』と。病気になったからって無理をする必要はないんだなって、これでいいのだからって素敵な言葉だなって、この言葉を聞いてすごく気持ちが楽になったんです。」

この講義に感銘を受け、バンド名を『これでいいのだバンド』と改名しました。

このバンドは、様々な人間が、年齢、性別、職業、肩書、健康状態に関係なく、良い加減に、あるがまま、かつ真摯に音楽を楽しんでいます。京都府の認知症の人と家族の会本部でのライブ、エーザイ本社でのライブ、その他多くの場所で演奏をしてきました。これからも続けていきます。



このスペースではとても語り尽くせないので取り急ぎ一言。このバンドは本当におもしろい。イノッティは私に音楽の本当の楽しみ方と仲間の大切さを教えてくれた大恩人なのです。

ねえ、 みて!

作業療法
実録

あなたのお仕事机 見せてください!

vol.3



癒やしグッズ(一部)



整理整頓好きだけど維持できない机

当院のリハビリテーション科では個人のデスクがあって、私はデスクワークの時や休憩時間をこのデスクで過ごしています。デスクマットの下には同僚からもらったメモや患者様のご家族様からいただいたお手紙などを飾っています!(お見せできませんが…)あとは好きなキャラクターグッズも少し(?)だけ飾っていて、お気に入りの空間です。

作業療法室には精神科作業療法や認知症リハビリテーションで使う様々なレク材があります。手芸用品や工作材料、将棋などの市販ゲーム類はもちろん、手作りのレク材もたくさんあります。この手作りのレク材たちは、スタッフが「こんなゲームがほしい」「こんなことがやりたい」という思いから各々作り上げた傑作ばかりです!



医療法人尚寿会 あさひ病院
認知症疾患医療センター

あ(´▽`),

石井 晶さん
のお仕事机



床置きタイプの玉入れゲーム!
どんな患者様での楽しめる♪



大型だるま落とし!

手作りレク材の材料は主に『段ボール』! おむつ等の病院からでる段ボールを集め、せっせと製作しています。長期的に使えるよう頑丈に、アルコール消毒ができるよう表面をガムテープやセロハンテープで保護、折りたたみ式など省スペースに収納できるよう考えられた設計、何より低コスト……かなり工夫を凝らしています!

いろんなレク材が販売されていますが、どうしても当院の患者層(主に80、90歳代の高齢者)ではなかなか使いづらいものばかり。しかし手作りですることで車椅子の方も、認知機能や身体機能が低下した方も、もちろんスタッフも、誰でも楽しめるレク材になります。みんなの画期的なアイデアやクオリティの高い制作物を見ると、「あ〜ほんとOTだなあ」と感じます!



巨大おみくじ筒も段ボール製。
全身で振っておみくじを出す!



新春イベントで
大活躍!

東西南北ブロック特集

教えて県士会!!

— 埼玉県作業療法士会ってどんなトコ? —

今回の担当ブロック

西部ブロック

埼玉県作業療法士会では、埼玉県を東西南北の4つのエリアに分け
地域支援活動や県士会活動を行なっています!



西部ブロック在籍人数：458名

※2023年11月30日現在



ブロック活動の紹介

2ヶ月に1回の定例会、研修・座談会企画（『みんなで語らNight!』）、養成校オープンキャンパスへの参加（『夏キャン』）などが主な活動です。定例会では、精神、老年、身障、養成校教員など様々な分野から10数名の方が参加し、情報交換やイベント企画・運営の打ち合わせなどを行なっています。

ブロック長の挨拶

2023年度より西部ブロック長となりました種沢です。埼玉県作業療法士会（県士会）では様々な部会がありますが、ブロックは県士会員の最も身近な窓口かと思っておりますので、これを機に皆さんにどんな活動をしているのかを知ってもらえればと思います!

ブロックの特色

西部ブロックの自慢は“団結力・実行力”です！例年行なっている『夏キャン』では、20名近くの方が参加し、学生さんと協力しながら高校生へ作業療法の魅力を伝えました。コロナ禍でリモートで開催していた座談会企画『みんなで語らNight!』については、「対面でやりたい!」という声が定例会で挙がり、いち早く対面形式での開催が実現できました！今後も、最も身近な県士会の窓口として様々な活動を企画していきたいと思っておりますので、皆さんのご参加もお待ちしています！



文京学院大学での西部ブロック『夏キャン』の様子



研修会（座談会）『今夜はみんなで語らNight!』の様子



Quality of Campus Life



～作業療法学生に聞いてみた～

埼玉県作業療法士会では、県内の養成校の学生さんが『広報部学生サポーター』として広報部で活動し作業療法の魅力を伝えています
そんな広報部学生サポーターさんにリアルな学生生活についてインタビューしてみました！

【今回の質問内容】



- ① 作業療法士になろうと思ったきっかけは？
また、作業療法士の魅力や好きなところは？
- ② 大学で、作業療法科目の好きな授業、
楽しい・面白いと感じた授業は？



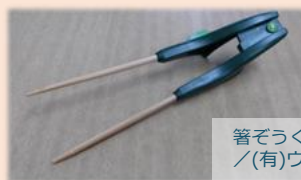
埼玉県作業療法士会 広報部



たむちゃん

① 母に勧められ作業療法士を知り、調べていく内に人のできるを支援する仕事に魅力を感じて目指しました。支援の選択肢が広いので、たとえ身体機能向上が難しくても作業をできるような支援がしやすいことも魅力と感じています。

② 福祉機器論です。どういう自助具があったら問題が解決できるか考えたり、実際に使ってみたりして、より学びが深まりました。国際福祉機器展に参加する機会もあり、最新の様々な福祉機器についても知ることができました。



箸ぞうくん
／(有)ウインド・本社



福祉機器 選び方・
使い方 副読本 (国
際福祉機器展)
／(一財)保健福祉
広報協会



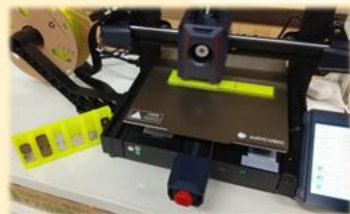
はるちゃん

① 医療職に就きたいと考えていた中で、大学のオープンキャンパスで作業療法士を知り、作業とは何か気になって調べていく内に興味を持ちました。身体面だけでなく精神面のサポート、道具や環境の調整など、多側面から支援できることが魅力だと感じています！

② 3Dプリンターを使って自助具を開発する授業です。どんな道具があったら便利かを考え、実際にプリントして形にしていく過程が楽しいです。作業療法において、その人にあった自助具を気軽に作ることができる3Dプリンターは重要な存在だと学びました。



パラリンコップ
／福祉用具機器研
究開発の会&脳卒
中片麻痺良好生活
倶楽部



ゆうか

① 私がOTになろうと思ったのは、高校の時、胸郭出口症候群による症状で日常生活動作に悩んだ経験をしたからです。怪我や病気と折り合いをつけ、前へ進もうとする方々をさまざまな社会資源を通して支援できるところが魅力だと感じています。

② 私が好きな授業は、臨床作業療法Ⅱの事例検討です。評価実習を終え、実習で学んだ臨床思考過程をもとにグループワークで1つの症例について考えます。MTDLPを用いて目標とプランを発表するため、グループごとの考え方の違いなど共有し、考えを深めることができる授業です。



HAPPY NEW YEAR

2024

広報誌「彩り」をご愛顧いただき誠にありがとうございます。
この度、「彩り」の更なる彩り(向上)を目指し、

アンケートを実施しております!!

皆様のご回答を、彩りスタッフ一同、

心よりお待ちしております!!

読者 アンケート

一緒に 彩るう



何かすごいことを創り出そう。

アンケートにお答えいただいた皆様には、御礼の気持ちとして
ステッカーをプレゼントいたします。希望される方はアンケート内
に送り場所と名前のご記入をお願いいたします。



ええ!?

Facebook

はじめたって

ホント!?



> はい。
こっそり始めてました。



▶この度、埼玉県作業療法士会は
Facebookをはじめました!

研修会情報を中心に、
広報誌やその他さまざまなお知らせを
発信しています(^ ^)/★

ぜひまだフォローしていない方は
こちらのQRコードからアクセスしてみて
くださいね♪

